

令和4年度 実験・実習技術研究会 2023

広島大学 参加報告

技術第2班 遠藤 健太郎

コアタイム(1部)13:10~14:40

(2部)15:00~16:30

1. はじめに

本研究会は、文部科学省所轄の大学共同利用機関法人、国立大学法人および独立行政法人国立高等専門学校機構に所属する技術系職員が技術研究発表、討論を通じて技術の研鑽、向上を図り、さらには相互の交流と協力により技術の伝承をもふまえ、わが国の学術振興における技術支援に寄与することを目的として毎年全国各地の大学等において開催されている。当方は令和4年度の研究会に口頭発表で参加したので報告する。

2. 主幹及び期間

広島大学

令和5年3月2日(木)~3月3日(金)

3. 形式及び会場

形式：Zoomによるオンライン参加

会場：鶴岡高専

4. 日程

<3月2日(木)>

9:30 開会式

開会宣言

学長挨拶

特別講演1

講師：広島大学 大学院先進理

工系科学研究科

教授 山本 透 氏

特別講演2

講師：文部科学省 科学技術・

学術政策局研究環境課

専門職 渡辺 隆之 氏

次期研究会 PR

12:10-13:10 昼休憩

13:10 ポスター発表

<3月3日(金)>

9:30 事務連絡

9:50 口頭発表(午前)

発表15分、質疑応答5分

※発表分野

情報・電気、機械、建築・土木・農学・水産学、化学・医学・理学、地域貢献、安全衛生

12:10-13:30 昼休憩

13:30 口頭発表(午後)

※同上

15:15 閉会式

5. 研究会に参加して

本研究会の口頭発表で当方は、「制御系弱電実験の改善~内容立案から導入及び効果確認~」と題して、4年電気電子コースで実施されている、弱電実験での問題を取上げ、1 テーマの内容を改善し導入、評価した結果まで報告した。質疑応答では2つあり、今後の展望、動向に関する質問や授業時間についての質問があった。Zoomによる発表会場は5つあり、全46件の発表で、内容は多岐にわたり、有意義な発表会であった。また、ポスター発表にはVR技術が活用されており、先進的な発表形式であった。

6. おわりに

本研究会では、実験・実習に関する様々な内容の取組みについて聴講する事ができた。得られた知見等を、今後の自身の教育・研究活動に活かせるように努めていきたい。